



～令和6年度 第2回教育アンケートの結果をお知らせします～

平素は本校教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

藤ノ森小学校では、学校教育目標を『自ら学ぶ意欲と豊かな人間性をもち 心身ともにたくましく生きる藤ノ森の子』に設定し、目指す子ども像を「すすんで学ぶ子」「だれとでもつながる子」「やくそくを守る子」「しなやかで元気な子」として教育活動を行っております。（詳しくは学校ホームページ『令和6年度学校教育の基本構想』をご覧ください。）保護者の皆様、地域の皆様にはお忙しい中、第2回目の教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。同時期に、児童には日頃の学習や学校生活の様子について、教職員には日常の授業や家庭との連携、学校運営への参画等について、実現度をはかる自己評価を実施いたしました。

保護者、地域の皆様からいただきました教育アンケート・学校評価と児童の自己評価を通して、藤ノ森小学校の日頃の取組を見直すきっかけにしたいと思います。今回は、7月に実施したアンケートを①、今回（12月）実施のアンケートを②とし、比較できるように表してあります。ご協力ありがとうございました。

実現度：そう思う・大体そう思う（よく出来ている・大体出来ている）を合わせた値

実現度①：7月実施アンケート
実現度②：12月実施アンケート

	質問項目	実現度①	実現度②
児童	① 学校生活は楽しいですか。	92.5%	93%
	② 授業がよく分かりますか。	90%	92.6%
	③ 学校や学級のルールを守って生活していますか。	87.4%	86.8%
	④ 授業中、進んで学習に取り組んでいますか。	88.5%	89%
	⑤ 授業中、先生や友達の話をしっかり聞き、話していますか。	89.6%	91.4%
	⑥ 協力して学習することができていますか。	91.2%	89.6%
保護者	① わが子が、楽しく学校に通うことができるように働きかけている。	97%	96.9%
	② わが子の学習の様子をつかもうと心がけている。	94.9%	94%
	③ わが子がルールを守ることができるように家でも働きかけている。	97.9%	98.4%
	④ わが子に、進んで学習に取り組むことができるように働きかけている。	90.3%	87%
	⑤ わが子に、人の話をしっかり聞くように働きかけている。	95.4%	97%
	⑥ わが子に誰とでも協力して学習することができるように働きかけている。	88.7%	86.7%
教職員	① 児童が楽しく学校に通うことができるような学級・学校づくりに取り組んでいる。	100%	100%
	② 授業の流れを明確にし、学習課題とまとめ、ふり返しを行っている。	96.8%	100%
	③ 児童がルールを守ることができるように見守り、支援している。	100%	96.5%
	④ 児童が進んで学習に取り組むことができようように働きかけている。	96.8%	100%
	⑤ 児童が授業中、人の話を最後までしっかり聞くように働きかけている。	100%	100%
	⑥ 誰とでも協力して学習することができるように働きかけている。	100%	100%

		質問項目	実現度①	実現度②
児童	⑦	家庭で自主学習（がんばり勉強）に取り組んでいますか。	85.2%	81.4%
	⑧	ていねいな言葉づかいに気をつけていますか。	82.7%	83%
	⑨	進んで元気よくあいさつをしていますか。	81.3%	80.8%
	⑩	自分や人、ものを大切にしていますか。	94.3%	92%
	⑪	掃除や整理整頓をしっかりとしていますか。	81%	83.4%
	⑫	進んで体を動かしていますか。	83%	85.4%
	⑬	日頃から読書をしていますか。	71.3%	69.6%
	⑭	自分の良いところが言えますか。	71.5%	70.8%
	⑮	学校での出来事をお家で話していますか。	82.1%	81.4%
保護者	⑦	わが子に、宿題や家庭学習の習慣が身につくように働きかけている。	90.9%	90.6%
	⑧	わが子に、丁寧な言葉づかいをするように、家でも言葉づかいに気をつけている。	81.7%	84.9%
	⑨	わが子が、自分から進んで挨拶をするように、家でも挨拶をしている。	95.7%	95.2%
	⑩	わが子が、人や物を大切にできるように働きかけている。	97%	98.8%
	⑪	わが子に、掃除や整理整頓の習慣が身につくように、家でも整理整頓に努めている。	82.2%	81.6%
	⑫	わが子が、自分から進んで体を動かすような言葉かけをしたり、機会をもったりしている。	81.1%	78.8%
	⑬	わが子に、本をよく読むように進めている。	64.1%	60.6%
	⑭	わが子のよさを認め、褒めるようにしている。	95.2%	95.5%
	⑮	お便りやホームページなどで学校の様子を知るようにしている。	90.9%	93.3%
教職員	⑦	児童に宿題や家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	100%	96.5%
	⑧	教職員自ら丁寧な言葉づかいを心がけている。	100%	96.5%
	⑨	教職員自ら進んで挨拶をしている。	100%	100%
	⑩	児童が人や物を大切にできるように指導している。	100%	100%
	⑪	児童が掃除や整理整頓の習慣が身につくように働きかけている。	100%	100%
	⑫	児童が進んで体を動かすことができるようにすすめている。	90.3%	92.9%
	⑬	児童の読書習慣が定着するように働きかけている。	93.5%	96.5%
	⑭	児童の良さを積極的に見つけ、認め、褒めるようにしている。	100%	100%
	⑮	各お便りやホームページ等で学級や児童の様子を伝えている。	90.4%	82.1%
		藤ノ森小学校「学校いじめ防止基本方針」の内容を理解し、組織的対応に努めている。	100%	100%
		児童・保護者の訴え（アンケート結果含む）や相談内容を共有している。	100%	100%

【学校の取組について（学校評価）】

		質問項目	実現度①	実現度②
保護者	①	本校教職員が、教育に対して熱意と誠意をもつこと。	94.9%	96.7%
	②	学校が、子どもの安全確保に気をつけること。	92.9%	92.8%
	③	学校が、学校の取組や様子について、学校だよりやホームページなどで情報発信していること。	92.7%	94%
	④	学校が、気軽に連絡や相談ができる関係づくりに努めていること。	91.4%	90.7%
	⑤	学校が、施設の整備など、充実した教育環境づくりに努めていること。	82.2%	85.1%
	⑥	学校が、家庭や地域との連携を大切にすること。	89.7%	93.4%

【学校の取組について（学校評価）】

		質問項目	実現度①	実現度②
地域	①	子どもが、すすんで挨拶をすること。	65.3%	61.2%
	②	本校教職員が、教育に対して熱意と誠意をもつこと。	96.2%	94.5%
	③	学校が、子どもの安全確保に気をつけること。	100%	96.4%
	④	学校が、学校の取組や様子について学校だよりやホームページ等で情報発信をしていること。	92.3%	87.5%
	⑤	学校が、気軽に連絡や相談ができる関係づくりに努めていること。	92.3%	94.5%
	⑥	学校が、施設の設備など、充実した環境づくりに努めていること。	84.6%	87.5%
	⑦	学校が、家庭や地域との連携を大切にしていること。	96.2%	91.3%

地域アンケートにつきましては、藤森学区社会福祉協議会の皆様にアンケートへの協力を頂いています。

【すすんで学ぶ子】

児童質問項目④⑤⑥については、1回目（7月）に比べて微増、微減はありましたが、数値的にはあまり変化がありませんでした。児童質問項目⑦『家庭で自主学習（がんばり勉強）に取り組んでいますか』では今回、数値を下げています。今年度本校では、2年生から自主学習に取り組んでいます。自主学習とは、自分で課題を立て、学習に取り組むことです。家庭学習のねらいは、家庭でも自ら学習する習慣を身に付けることにあります。課題を与えられる受け身の学び（宿題）だけでなく、自らが課題を選び、取り組む主体的な学び（自主学習）を目指しています。学校での学びだけではなく、家庭においても興味・関心に基づいた学習を進めてほしいと考えています。学校では自主学習のノートのコピーを廊下に掲示し、意欲向上につなげている学級もあります。発達段階に応じた意欲的な取組になるような自主学習にしていきたいと思ひます。

【だれとでもつながる子】

本校では人権教育を重点的に行っております。藤小タイムでの人権学習の交流や道徳の授業など、様々な取組において人権意識の向上を図ってきました。人権教育の理念は、「自分の人権のみならず他人の人権についても正しく理解し、その権利の行使に伴う責任を自覚して、人権を相互に尊重し合うこと、すなわち、人権の共存の考えととらえる」べきものとされています（文部科学省・人権擁護推進審議会答申）。つまり、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」と言えます。児童質問項目⑩『自分や人、ものを大切にしていますか。』では、92%ができていると答えていますが、前回に比べると、若干数値を下げています。9割ができているからよしとするのではなく、下がったことに着目し、子ども達一人一人の様子や変化に気づいていくことができるように、しっかりと関わっていききたいと思ひます。そして、教職員間での連携、家庭や地域との連携を大切に、今以上に自分や人を大切に、そしてものを大切にできる子ども達の育成を目指します。

【やくそくを守る子】

約束やルールに関する質問項目③においては、児童 86.8%、保護者 98.4%、教職員 96.5%と1回目のアンケートと同じ傾向を示しています。概ねできていると言えますが、数値が1回目と比べて若干下がっている（児童・教職員）ことも見逃してはいけません。やくそくを守る子の育成、すなわち自己指導能力を育成することは、学校の中だけで完結するものではなく、家庭や地域などとの連携・協働を緊密にし、子ども達の健全育成という広い視野から地域全体で取り組むものだと考えております。今後も、学校・家庭・地域との連携を大切にしていきます。

【しなやかで元気な子】

児童質問項目⑫『進んで体を動かしていますか。』では、1回目のアンケートに比べて若干数値の向上が見られました。昨年度のアンケートでは、寒くなってくると外に出ない子も増えることから、2回目のアンケートでは数値を下げていました。休み時間では子ども達の元気な姿を見ることができます。「しなやか」で「元気」というのは、いろいろな活動の「意欲」につながるものと考えます。このことは、基本的な生活習慣が確立していることと大きく関係があります。そのためにも睡眠時間や食事、排便等の基本的な生活習慣の確立にご協力ください。

保護者の方々には、「ご家庭で効果的であった取組」について、今回は早寝早起きや排便といった生活習慣での取組を教えていただきました。一部ではありますが、紹介させていただきます。

- ・休暇期間も学校がある時と同じように起床、就寝をしている。
- ・睡眠不足は免疫力を下げってしまう事を伝えて、毎日元気に過ごす為には何時に寝るのが理想か、その為にどう動くべきか話し合っています。
- ・以前は早寝することばかりを心がけていたが、早起きすると必然的に活動時間が長くなり疲れて早く寝るようになったように思う。
- ・早寝早起きが身につくように、幼少期から一定の時間になれば寝室に行き、布団に入るようにしていました。今でも早寝早起きは習慣化しています。
- ・共働きなので、長期休み関係なく生活リズムが変わらないので取組が達成できていると思う。早く起きてやることない、ではなくて何か朝活を作って、まずは早起きができるようになれば、就寝時間もリズムが維持できるのではないかと思います。
- ・9時間は寝ることができるよう、ご飯を作っている間にお風呂に入ってもらいます。夜は一緒に布団に入ります。毎日同じ時間に寝て起きてごはんを食べます。トイレも同じ時間にいきます。親も一緒にやります。
- ・寝る時間を決めていても、その時間にならないと寝る準備を始めないので、歯磨きやお手洗いなどをいつまでに済ませるか時間も決めたら、多少スムーズに寝室へ向かえるようになりました。
- ・睡眠時間は8時間以上を心掛けている。排便は毎日しているかを確認している。水分を夏でも冬でもしっかり摂るように、朝起きてコップ一杯のお茶は必ず飲むように促している。
- ・掃除タイムを設けています！子ども達が休みの時は散らかりやすいですが、一度掃除タイムで綺麗にするとスッキリしてあまり散らからなくなります。子ども達も気分が良いねと言います！
- ・ごはんはしっかり食べる。大皿で出さず、1人分ずつ分けて出しています。作ったおかずを全種類食べられるのと、苦手でも少しは食べてほしいので。
- ・早寝、早起きに関しては【はたらく細胞】というアニメを見ていたので、その中でホルモンのお話を聞いて「早く寝ないと成長ホルモンがでないよ～」という話をすると少し効果がありました。
- ・20時半就寝、6時起床の生活リズムを心がけています。とはいえ、学校から帰って寝るまでのリズムはなかなか整わず、親の声かけが増えてしまう現状があったので、色々方法を考えてみました。効果的であった方法としては、朝や夕方にする事を子どもと一緒に考え、リストにして見えやすい所に掲示し、子ども自身が意識して行動できるようにしてみた所、我が家では親の声かけが減り、リズムが整ったように思います。
- ・朝は必ず天気予報を見るようにしていたので、それに合わせて起きることと着替えることをセットで動けるように声かけをしていたところ、自ら起きてやるようになりました。また朝にたまたま学習していた時に、『朝活やな』と声をかけたところ、その言葉が気に入って、読書や漢字の練習をするようになりました。
- ・朝の排便習慣について…夜、食後のデザートとしてほぼ毎晩ヨーグルトを食べています。我が家は便秘知らずです。